

作業前にポイントをおさらい！



## 育苗について ～滑り出しが肝要です！～

### その1 浸種、催芽完了の合図「鳩胸状態」を見極める！

種子が右図のように少しでも芽が出てきている状態（鳩胸状態）であるか確認をしましょう。

芽の出し過ぎは損傷による出芽率低下を招きます。

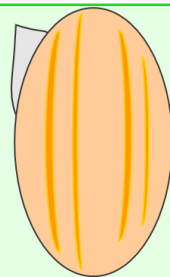
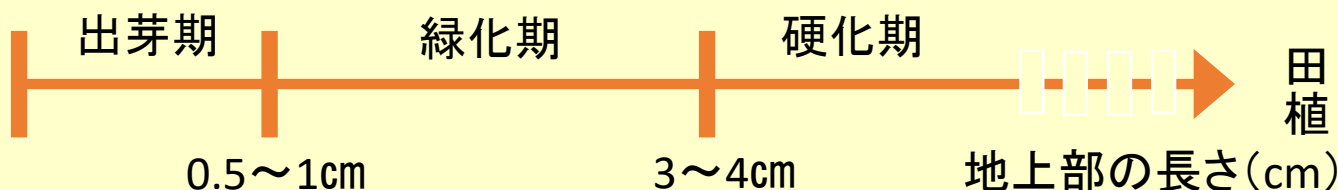


図 鳩胸状態の種子

### その2 育苗中は適温管理、十分な灌水をすること！

・毎日生育状況を確認して以下の事項に留意してみましょう。



#### ①それぞれの期間の適温

出芽期...30～32℃（低温はカビ、病気の元）

緑化期...22～25℃（夜間は10℃以下は×）

硬化期...外気温（夜間は12℃以下は×）

#### ②十分な灌水

晴天時には1日3回行う。

夕方の灌水は過剰な水分

供給となるため避ける。

### その3 品種ごとの伸長具合に注意！

品種によって伸長具合が違います！

特にR5年から広く生産されている「なつほのか」は、

「ヒノヒカリ」より伸長しやすいという特徴を持っています。

早めに被覆資材を外すなど注意して管理してください！



「苗半作」という言葉があるとおおり、育苗は非常に大事です！  
良いスタートダッシュを切りましょう！

